

笑顔 No.8

滑川ファミリースポーツクラブ
設立準備委員会 広報部
2005.2.28 発行

事務局：携帯090-8442-0959(土田)

総合型地域スポーツクラブ(仮称)滑川ファミリースポーツクラブ

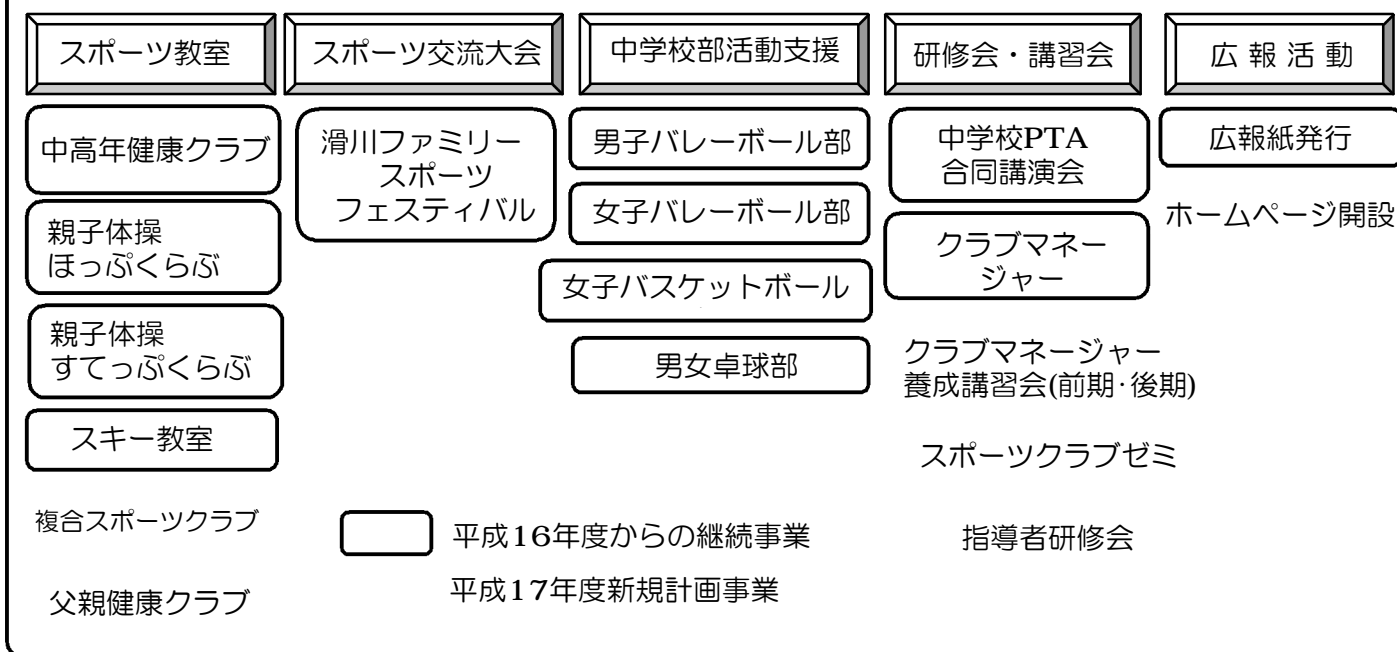
設立準備活動をもう1年続けます。
平成18年4月設立を目指す！

(財)日体育協会の指定を受け推進してきた平成16年度委託事業を、平成17年度も継続して委託指定を受けるべく、今年1月末にその申請を実施しました。申請結果は4月初めに出る予定になっていますが、その事業内容を下記のように実施する計画であります。平成16年度実施事業をベースとして、小学生を対象とした「複合スポーツクラブ」、働いておられる方達を主体とした「健康体操クラブ」を加え、各年代に応じて何かの事業に参加活動して頂ける事業メニューを取り揃えた計画としました。

この1年間をこのような活動を通して設立に必要な色々なノウハウを積み、来年4月のクラブ設立に向け準備委員会活動を活発化してまいります。

クラブマネージャー 土田 宏

プレ事業計画(平成17年度) いろいろな事業を実施していきます。



「いろいろ」が、社会のパワー

— 総合型地域スポーツクラブマネージャー養成講習会より — 期間2004.11/27・28.12/4・5

今「総合型地域スポーツクラブ」の必要性が説かれ、現在日上市では、滑川地区と塙山地区が、そして全国各地で試行錯誤のクラブづくりが行われています。講習の目的は、クラブの運営に必要な事項をステップごとに学習し、その経営能力を有する人材を育成することにあります。

ところで、「総合型地域スポーツクラブ」の意味ってなんだろう？

まずクラブが単なるスポーツ愛好者の集まりではなく、スポーツ環境の提供と、楽しみながら人間関係を広げる「まちづくり」の提案をすることにより、地域の生活課題を共有し、解決する糸口として位置付け、地域の生活を豊かにする仕組みとして理解してもらおう事にあります。設立後の運営は、会費収入だけに頼らず、時間や技術など住民の智恵と力を出し合って支えていくことで、連帯感が生まれていきます。

講義の中で、ある著書から引用されたフレーズが、印象に残りましたので紹介します。

『おとなはおとなだけで群れ、子どもは子どもだけでたむろし、老人は老人同士で集う。ひょっとすると仲間で群れることも面倒で一人で過ごす時間のほうが長いのかも知れません。それがいまの日本の社会のありさまで。—— けれど社会の成長エネルギーというものは、老若男女あらゆる人間が交じり合うことで初めて生まれるのです。異質なものが混在するから文化は成熟し、継承されます。類で群れ合っただけで楽を求めている限り、社会に未来を切り拓くような力がみなぎることはありません。』

「総合型スポーツクラブ」の目指すものは、こんなところにヒントありってことかな・・・

設立準備委員 齊藤

プレ事業報告1. 「井上 謙氏」講演会

2月19日(土)中学校生徒を初め、滑川地区外からの参加も含め、約160人の皆さんが、会場の滑川中学校体育館に集い、井上さんの体験から生まれたアドバイスや指針となりうる熱い言葉に耳を傾けていました。

感想をお寄せいただきました。

井上謙氏の講演会が開かれた日、外では冷たい雨が降っていた。会場に訪れた生徒たちも休日だというのに制服に身を包み、緊張した面持ちで座っている。その心を見透かしたように井上氏は、その第一声で「リラックスして聞いていいよ。」「トイレに行きたくなったら行っていいよ。」と教えてくださいました。子どもたちの目と耳は、もうそれだけでステージに集中する。授業中よりいい表情をした子も多い。「レギュラーになれなくても、仲間と一緒にがんばって続けることが人生の中で大切なんだ。」と、自分の偉大な功績をふりかざすことなく、優しく、熱く語る井上氏の人柄にも魅せられてしまった一日であった。

滑川中学校生徒指導主事 中野 肇男



質疑応答にて

「続けることが一番」

「スポーツでもっとも大切なことは続けることが一番。頑張ったら頑張っただけの結果がついてくる。」

私はこの井上氏の言葉に、人が生きていくための基本的な姿はスポーツも同じなんだなと思いました。

勝ち負けより前の結果に対してどれだけ頑張ったかが大切であること、ほんの少しの前進でも認めてあげて長所をさらに伸ばしてあげる。そして、本気で怒る、叱る、ほめることがとても大切で、何事にも本気でなければ子供たちはついてこないとお話されていましたが、これは子育てにも共通することであると思いました。

「本気」で怒ることはとてもエネルギーが必要ですが愛情や情熱があれば、本気で教えることができると思います。そして、専門的な指導者の力をお借りして、子供たちにスポーツを通して「生きる力」を育てていけたら、親としてこんなに心強いことはないと思いました。

今回の井上氏の講演会は、自分の子育てを見直すとても良い機会になりました。今日からまた「本気」で子供たちと向き合っていくと思います。

滑川中学校父兄 根本 綾子

プレ事業報告2. スキー教室 (子ども会育成連合会共催)

2月5～6日総勢41名(中学生13名、小学生21名、他大人)の参加のもと、猪苗代スキー場にて実施。5日はあいにくの吹雪で高速道路の一部不通があり、渋滞のなかを日没前に到着、あまり滑れませんでした。翌6日は天気にも恵まれ、昨日の分も挽回！夜は温泉につかりリラックス。子どもたちからは「楽しかった～」の感想が・・・



《滑川小 5年 皆川 康太 君》

去年初めてやったスキーが楽しかったので、今年も絶対参加したいと思っていました。

スクールの先生の説明は分かりやすく、今年も気持ちよく滑ることが出来ました。来年も参加したいです。

《滑川小 6年 由上 栞》

1日目行く時、雪でスキー場に着くのが遅れてしまって、あまり滑れなくて残念だったけど、2日目は、みんなで楽しくたくさん滑れたので、よかったです。みんなでホテルに泊まったり、スキーを滑ったりしてとても楽しかったです。

